

史跡 小牧野遺跡

小牧野遺跡は青森にあります。意図的に平らにされた高台に数千個の石が同心円状に並べられています。3つの完全な環と1つの部分的な環が、直径55mの環状列石を形作っています。この環状列石は、紀元前2000年頃のものであり、北日本の大規模な先史遺跡の1つです。この遺跡の考古学調査により、墓穴、竪穴建物跡および儀式に使われた品々が発掘されました。

さまざまな地点から環状列石を間近に見ることができます。中心に至る道では、石とその配置を詳しく見ることができます。また、南側には高台があり、環状列石を上から見ることができます。遺跡の入口にある「小牧野の森・どんぐりの家」の近くには、陸奥湾、青森平野および八甲田山西麓を望む展望所があります。

縄文の学び舎・小牧野館

小牧野遺跡に関する情報は、遺跡から1.5km離れた「縄文の学び舎・小牧野館」で入手できます。縄文時代の暮らしの概要が展示され、小牧野遺跡からの出土品の一部が紹介されています。情報は英語でも提供され、子どものための体験型の展示もあります。入館は無料です。

関連遺跡

北日本の大規模な先史遺跡には、他に大森勝山（青森）、伊勢堂岱（秋田）、大湯（秋田）および鷲ノ木（北海道）の環状列石などがあります。